

簡易マニュアル

前書き

現在テスト中ですので、突然の仕様変更等ございますこと、平にご容赦ください。

GW MSC Playerのプラン設定

☆Free版

動画の書き出しには10分の制限がかかります。

作成可能Cue数に制限。

☆Pro(サブスク)版

全ての制限が解除されます。

注意事項

1. 本アプリは動画を読み込み、その動画にCueNo.やScene名を複数割り付け、管理することが主目的のアプリケーションです。(ユーザー任意のチャプター作成と考えてもらえるとわかりやすいかと)

2. MSC再生機能を使用する為にはMSCをネットワーク上に発する事が可能なコンソール等が必要です。また、コンソールからIOS機器への接続ケーブルも必要になります。

※通信にWifiを使用することは可能ですが、電波環境の問題により受信に問題が出るが多々ありますので、ご承知おき下さい。

3. 本アプリの機能以外でのトラブルに関してはご対応致しかねますので、あらかじめご了承ください。

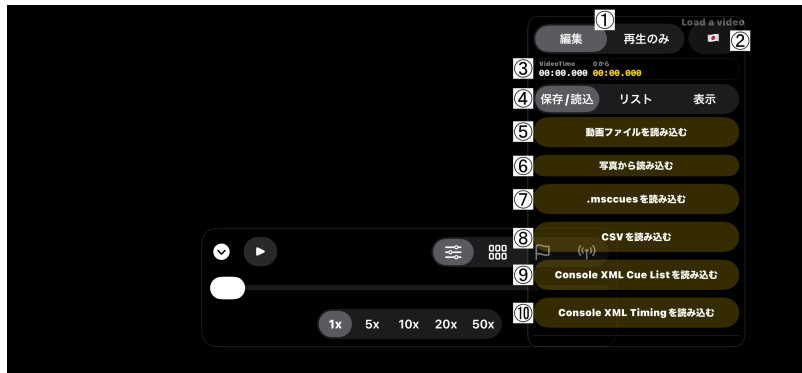
目次

※ここではすべての機能を解説します。ご購入のタイプによっては使用できないものもあります。

- 1. トップメニュー …3P
- 2. 保存/読込 …4P
- 3. リスト …7P
- 4. 表示設定 …9P
- 5. グリッド …10P
- 6. 再生フロート…13P

1. トップメニュー

アプリが立ち上がり、写真、ファイルアクセスなどの許可を求められます。
本アプリの使用には許可が必要ですのでご了承下さい。



許可を終えた後の画面が左の状態になれば正常です。

☐ ①メニュー閉じるボタン(メニューを非表示します)

☐ ②日本語、英語、切替ボタン

☐ ③動画を読み込むと、現在再生されている動画の時間と0点(後述)からの時刻が表示されます。

☐ ④メニューの切替ボタンです。「保存/読み込」「リスト」「表示」の3項目に分かれます。

2.保存/読込

☐ ⑤iosのファイルアプリから読み込むファイルを探します。

☐ ⑥iosの写真アプリから読み込むファイルを探します。

☐ ⑦.msccluesファイルを読み込みます。

☆.msccluesというファイルは。アプリ独自のファイル形式となります。

Cue番号、タイムスタンプ、0点タイムスタンプ、Time情報、Part情報などが格納されており、作業を保存しておくことも別の動画へ割り付けることも可能です。

☐ ⑧CSVファイルを読み込みます。

☆CSVファイルは、.msccluesと格納されている情報はほぼ変わりませんが、表形式で情報を確認することができ、データの取り出しや使用には向いています。

☐ ⑨Console XML(GMA2対応)のCue List読み込み。

☆主にGMA2等で作成されるxml形式のシーケンスデータを利用して、CueListを自動で作成します。FadeTime等が保存されている場合はそちらも同時に読み込みます。

すでにCue情報が存在し、同一の数字がある場合、情報は統合されます。現状に存在しないcueは追加で読み込まれます。

☐ ⑩Console XML(GMA2対応)のTiming読み込み。

☆主にGMA2等で作成されるxml形式のシーケンスデータを利用して、既に登録されているCueに対応するxmlデータが存在する場合、CueのFadetimeやDelaytimeなどを読み込みます。

対応するCueがない場合は新規でCueが作られることはありません。

タイトルの入力と書き出し



☐ タイトルを直接入力できます。

※現在、制限はありませんが、あまり長いと画面に収まりません。
表示タブ内で文字サイズ、表示場所の調整が可能です。

☐ .msccuesを保存…先述の.msccuesデータを書き出せます。

☐ CSVを書き出す…先述のCSVデータを書き出せます

☐ 全てのCue/Sceneを削除

※現在の動画に紐づいているCue/Scene情報を全て削除します。

☐ 「StampTimeクリア」にて全てのCueのStampTimeを削除できます。

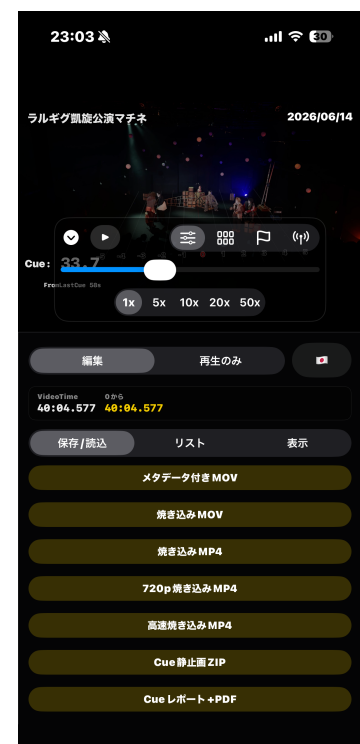
動画の書き出し

☐ メタデータ付きMOV …Recoderと同様の形式で書き出せます。
画面上に情報は残りませんが、その分速度も速いです。

☐ 焼き込みMOV …”表示されている項目”を焼き込んでMOVを作成します。

☐ 焼き込みMP4 …”表示されている項目”を焼き込んでMP4を作成します。

☐ 720p焼き込みMP4 …”表示されている項目”を焼き込んでMP4を作成します。720Pの省エネVerです



静止画の書き出し

☐ Cue静止画Zip…登録されているCue番号順に動画時刻を使用して動画から静止画を書き出します

※CueにFadeTimeやDelayTimeが登録されている場合、そのタイムを参照して、Cueが決まった時刻を計算した上で静止画を書き出します。

※書き出されるのはjpeg形式で1Cue1枚ずつです。書き出し時Zipでまとめています。

※File名は通し番号、CueNO. タイムスタンプにて構成されます。

☐ Cueレポート+PDF(名称変更予定)…CSV,msccuesと静止画を資料にまとめやすい形式にして、まとめて書き出します。書き出しパターンは現状5パターンから選択可能で、後から文字を書き入れたりできる余白をつけたりも可能です。またPDFは全てのCue静止画が1つのファイルにまとまっています。

3. リスト

リストでは、CueとSceneの管理ができます。

☐ 0を指定…ユーザー任意の0秒地点を決めることができます。(これは動画本体の0秒とは別です)

※開演時間などに0点を合わせることで、そこからの秒数が自動で表示されます。

※稽古動画が複数ある場合、再演時に前回本番のCueを再演稽古動画にコピーして編集したいなどの作業を想定した機能です。移行においては0点を同一のタイミングに合わせてからCue情報を読み込むことにより、タイミングの修正が少なくて済むかと思われます。

☐ Cue追加…新規のCueを追加できます。

☐ Scene追加…新規のSceneを追加できます。

☆ Cue リスト

Cueリストでは現状で登録されているCueが確認できます。

☐ 右端の移動ボタンは、該当Cueの再生時間へジャンプできます。

☆左端の編集ボタンを押すと、Cueの詳細情報の編集ができます。

☐ 「現在位置を設定」を押すと、現在の動画の再生位置をCueに登録することができます。

☐ 「Cue」でCue番号の変更ができます。保存する際に同一Cueがある場合は警告が出ますが、同一Cueが存在することは許容されています。

また、Commandを任意に変更することもできます。

☐ 「Timing」でCueのFadeTime、DelayTimeを入力できます。

InとOutを分ける時には「/」を使用して下さい。

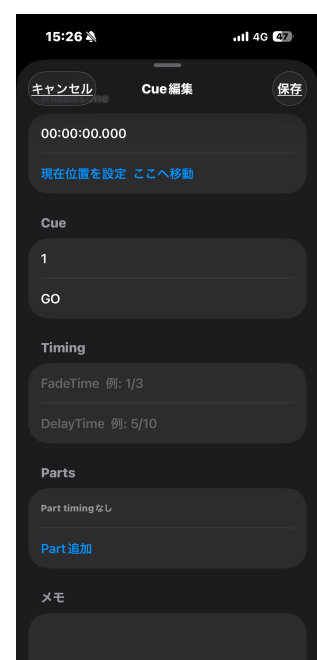
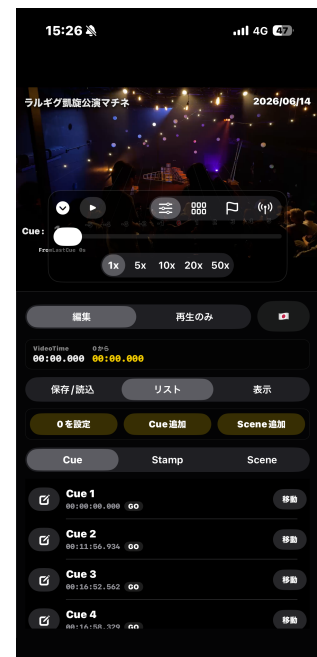
※ここで入力されたFadeTimeとDelayTimeが静止画書出し時の参照時間となります。

☐ 「Parts」ではCueに付随するパート情報の編集が可能ですが、基本的にはPart情報を手動で追加するメリットは薄いです。

PartsはXMLデータの読みで自動入力され、静止画書出し、もしくはCue Complete表示の際に参照タイムとして利用されます。

☐ 「メモ」ユーザー任意のメモをCueごとに記録できます。

メモの内容は、「表示」にて画面右下に表示させることができます



☆Stampモード

Stampモードでは登録されているCueにタイムスタンプを割り付けていくことができます。

動画を再生しながら、任意のタイミングでボタンを押すことによって、割り付けが可能です。

※Stampは必ず時間軸順に設定される必要があり、前後することができません。(Cue番号自体は後から変更できます。)

☐ 「前へ」にて一つ前のCueが選択できます。

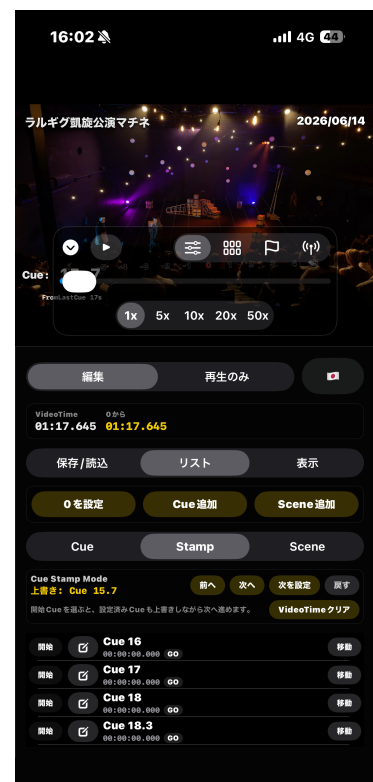
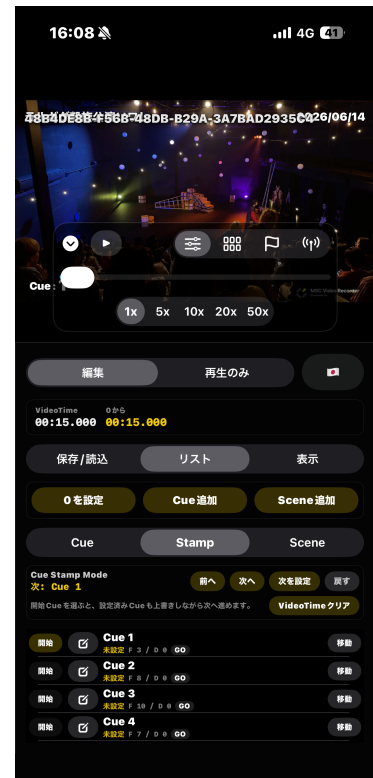
☐ 「次へ」にて一つ次のCueが選択できます。

☐ 「設定して次へ」にて選択Cueに再生時刻を割付できます。
割付した後は自動的に次のCueが選択されます。

☐ 「戻す」にて割付を30個まで以前の状態に戻せます。

☐ リスト内の「編集」「移動」は前述と同じ機能です。

☐ 開始ボタンで、Stampの開始Cueを選択できます。



☆Sceneリスト

Sceneを管理できます。

※Sceneにはタイムスタンプとテキスト情報が格納されます。

該当する再生箇所から入力したテキストが、タイトルの下に表示されるようになります。こちら也表示タブで調整可能です。

Cueリストと同様にシーンの頭出しが可能です。

「1幕1場」や「M1」「セットの状態」などのインフォを表示しておける機能です。

※Sceneは一度表示されると、次のSceneまで表示されたままになります。

4.表示

ここでは、画面表示関連の調整ができます。

※ここでの表示、非表示の切替は書出しの内容にも影響します。

※Defボタンで、サイズや位置をデフォルトの数値に戻すことができます。

☐ 動画タイトル … 動画タイトルの表示、非表示。位置、サイズが調節できます。

☐ Cue …Cue No.の表示、非表示。位置、サイズが調節できます。

☐ Command …MSC Commandの表示、非表示。位置はCueに同期されます。

☐ From Last Cue…From Last Cueの表示、非表示。位置、サイズが調節できます。

※From Last Cueは、任意のCueがGoされてから現在の再生位置までの時間を秒数表示します。

☐ Part Timingを使用する…XMLなどから読み込んだPart情報を表示や静止画書き出しのタイミングに反映させるかどうかを選択できます。選択を外してもデータは残ります。

☐ Scene…Sceneの表示、非表示。位置、サイズが調節できます。

☐ Cueメモ…Cueメモの表示、非表示。位置、サイズが調節できます。

5.グリッド

ここでは、グリッド線の表示切替と調整ができます。(画面はRecoderのものです)

☆プリセット

調整したグリッドを3パターン保存しておけます。

P1をタップして「保存」で現状を記録できます。また、「読込」で保存したプリセットを呼び出すことができます。

☆グリッドリセット

グリッドのすべての調整値を初期状態へ戻します。

☆全体設定(折りたたみができます)

グリッドの全体に関わる調整です。各項目にリセットボタンが付いています。

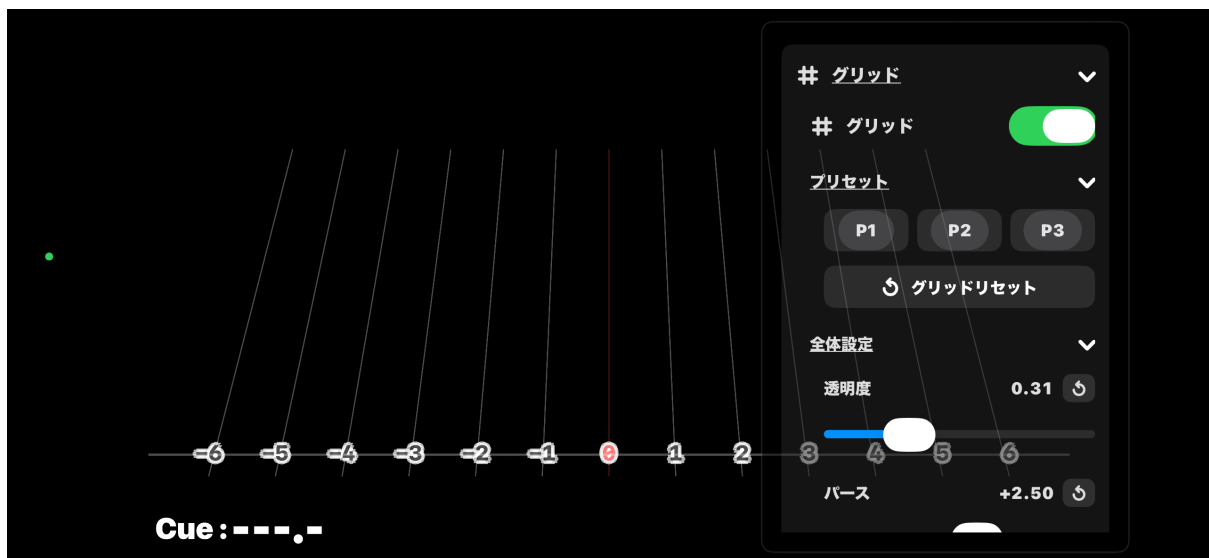
☐ 透明度 … グリッド線の透明度が調節できます。

☐ パース …+方向で縦のラインを奥^{おく}すぼ^{すぼ}まりにできます。-で逆になります。

☐ 横パース …+方向で全体ラインを左^{すぼ}すぼまりにできます。-で逆になります。

☐ 縦回転 …縦ラインの回転が出来ます。

☐ 横回転 …横ラインの回転が出来ます。



☆縦設定(折りたたみができます)

グリッドの縦ラインに関わる調整です。

2段の調整欄があり、上側でセンター以外のラインの色を「黒、白、赤」の3色から選べます。
下側では、センターラインの色を同じく、3色から選べます。

☐ 縦線数…縦ラインの本数を増減できます。現在、奇数以外は選択できません。
後述しますが、数字を表示する場合はこの縦線数に比例して表示されます。

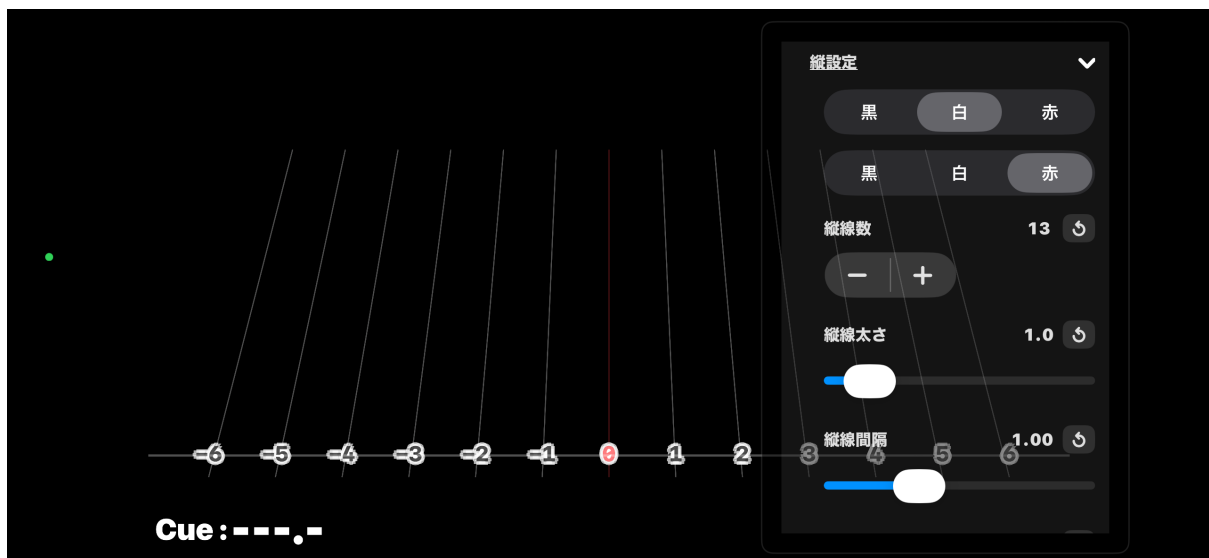
☐ 縦線太さ…縦ラインの太さを調節できます。

☐ 縦線間隔…縦ラインの線間隔を調節できます。

☐ センター位置 …縦ラインのセンター位置が調節出来ます。

☐ 奥側空白 …縦ラインの長さの奥側が調節できます。

☐ 前側空白 …縦ラインの長さの前側が調節できます。ここで数字の前後位置も調節されます。



☆横設定(折りたたみができます)

グリッドの横ラインに関わる調整です。基本的には縦と一緒にします。

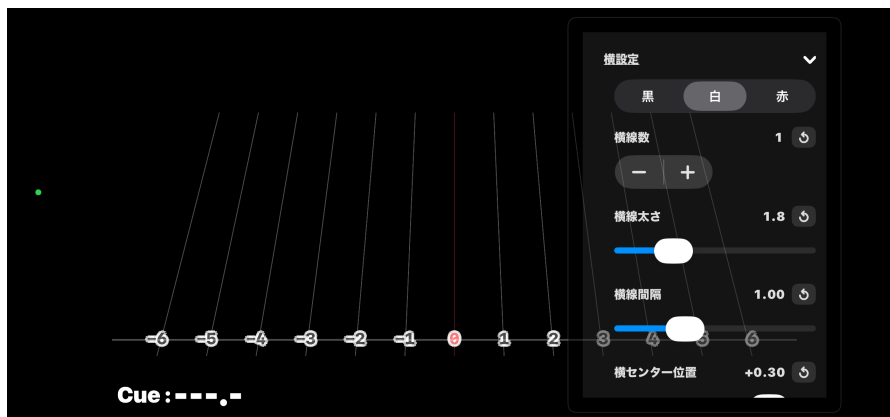
1段の調整欄があり、センターのラインの色を「黒、白、赤」の3色から選べます。

☐ 横線数…横ラインの本数を増減できます。

☐ 横線太さ…横ラインの太さを調節できます。

☐ 横線間隔…横ラインの線間隔を調節できます。

☐ センター位置 …横ラインのセンター位置が調節出来ます。



☆数字設定(折りたたみができます)

グリッドの縦ラインに付属する数字表示の調整です。

3段の調整欄があり、1段目で数字の「OFF,1,2」が選択できます。

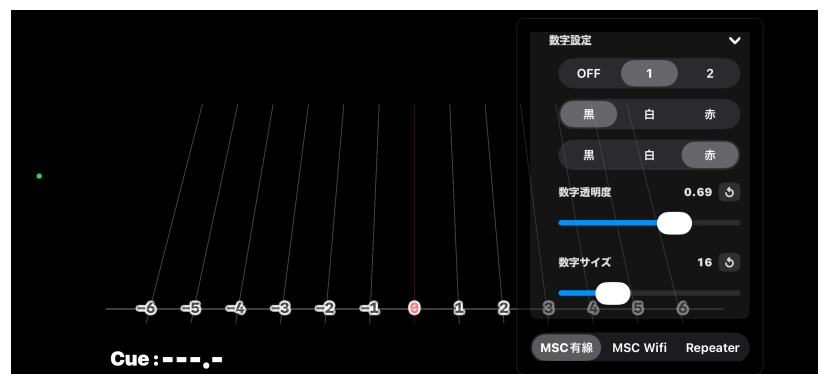
「OFF」が非表示。「1」が線1本につき、数値が1増。「2」が線1本につき、数値が2増。

2段目はセンターの数字以外の色を「黒、白、赤」の3色から選べます。

3段目はセンターの数字の色を「黒、白、赤」の3色から選べます。

☐ 数字透明度…数字の透明度を調節できます。

☐ 数字サイズ…数字の大きさを調節できます。



6.再生フロート

☆再生操作のフロートがあり、メニューが表示されていない時はタップで表示、非表示の切替ができます。メニューがある時は左上のボタンで収納できます。

フロートには4つの操作方法があり、右上のメニューで切替ができます。

☐ スライダー

スライダーの倍率を変化させることで細かい操作ができます。

※倍率を上げれば細かい操作が可能ですが、表示範囲が短くなります。

スライダーを端まで操作して離すと、表示範囲が自動で更新されます。



☐ ボタン

スライダーと固定秒数の送り戻しボタンがある画面です。

ボタンの秒数は表示設定画面で変更できます



☐ Cue/Scene送り

CueとSceneが登録されている状態であれば、次のCue、次のSceneと送り戻しができます。

※変化の直上に時間が移動しますので、画面には該当CueやSceneが表示されていない状況になる場合があります。



☐ Midi 送り

Cueが登録されている状態であれば、MSC信号を使用して、送られたCueの再生箇所へ動画を送れます。

※変化の直上に時間が移動しますので、画面には該当CueやSceneが未だ表示されていない状況になる場合があります。



※MSCの受信に関する設定は、別紙Midi設定をご参照下さい。

☆再生、停止状態は送り、戻し操作後も維持する設定となっています。